

平成 26 年度高校向け「文系チャレンジ講座」（目的 高校生に学問を学ぶ楽しさを伝えることで、進路選択の道しるべとする）

対象学年 主として 2 年生（学校によっては他学年が混じることもある）

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要（250 字程度）
1	6/18（水） 16：30-17：30 経済学部 203 号	経済学部 教授 安岡 正義	カントの政治思想と平和論	自然状態とは何でしょう？自然状態が戦争状態であるとはどういう意味でしょう？カントの歴史哲学上の著作「啓蒙とは何か」や「世界市民という視点から見た普遍史の理念」、さらに『永遠平和のために』を読み解きながら、真に公正な市民的社会のあり方や永遠平和の条件を考えます。言論の自由の保障されている現在とは異なり、検閲制度のもとでカントの行った精一杯の同時代批判は、今なお我々を感動させることでしょう。
2	7/16（水） 16：30-17：30 経済学部 203 号	経済学部 教授 松尾 純廣	小さな世界企業の経営学	この授業は、大学の「経営学」という講義について説明します。「経営学」は、主に「会社」のしくみや活動についての学問です。今回は、地域の小さい会社ながら世界のトップ企業となっている会社、「小さな世界企業」について紹介したいと思います。小さくてまったく無名の会社がなぜ世界でトップになれたのか紹介するとともに、会社の良し悪しは決して規模や名声などではないことを学んで欲しいと思います。（参考）夢ナビ：（大分大学松尾教授）これからの時代をリードするのは、得意分野を持つ「スモール企業」
3	9/17（水） 16：30-17：30 経済学部 203 号	経済学部 准教授 相浦 洋志	恋愛問題からみる経済学	経済学はお金に関する学問と思われがちです。狭い意味では確かにその通りなのですが、経済学は「ヒトとヒトとのつながりやヒトと社会とのつながり」を科学的に分析する学問でもあるのです。この講義では恋愛という男性と女性とのつながりを経済学の視点から見ることを通して、経済学の基本的な考え方を紹介していきます。
4	10/15（水） 16：30-17：30 経済学部 203 号	教育福祉科学部 准教授 廣野 俊輔	障がいがある人の福祉	障がいをもっている人は、生活のどんなところに不便を感じているのでしょうか。生活の場面でどんな支援があると生活がしやすくなるのでしょうか。こうした問題を、障がいがある人が実際に利用する道具や関係する映像を利用しながら、参加者と一緒に考えます。

5	11/19 (水) 16:30-17:30 経済学部 203号	経済学部 准教授 大井 尚司	「交通」を「地域」と「経済」のかかわりから考えてみよう	日々の通学、買い物、旅行、モノの輸送など、「交通」は「地域」と密接につながっています。また、こういった「交通」「地域」の問題は、高校の科目でいう「現代社会」「政治・経済」で学んだ内容とも実は関係しています。「交通」が「地域」や「経済」にどのように関わっているのかを、安い料金の飛行機 (LCC)、高速道路を走るバス、新幹線や観光列車など、九州内の話題を交えてお話しします。
6	12/17 (水) 16:30-17:30 経済学部 203号	経済学部 教授 高山 英男	グローバル化とナショナリズム	政治学や国際政治学は、昔から命がけの危険な学問です。それは政治そのものが権力闘争だからです。現在は企業の世界的活動などグローバル化が進行している中で、世界中でナショナリズムが猛威を振るっています。この講義では、いくつかのナショナリズムの姿を見ながら、どうして今ナショナリズムが強まっているのか、どうしたら対立を防げるのかについて、皆さんと共に考えます。
7	1/14 (水) 16:30-17:30 経済学部 203号	経済学部 講師 牧 真理子	食品偽装事件と 役員の法的責任	近年、多くの食品偽装事件が世間の耳目を集めており、高校生のみなさんも関心をお持ちだと思います。このような事件では、法学分野では、会社の役員がどのように責任を追及されていくのかが議論されることとなります。本講義では、役員の行為規範や法的責任について、一緒に考えていきます。
8	2/4 (水) 16:30-17:30 経済学部 203号	教育福祉科学部 准教授 田中 修二	「美術」の始まり	物事にはなんにでも始まりがあって、それは「美術」でも同じです。けれど、いつ「美術」が始まったのかということを考えると、見方によっていろいろな「始まり」が見えてきます。この講義ではそれらのいろいろな「始まり」を、具体的な「作品」を例にあげながら見ていくことで、私たちにとって「美術」とはなんなのか——なぜ「美術」があるのか、人の役に立つのか、など——を考えてみます。皆さんが「美術」に限らず、いろいろな物事について、いろいろな見方で見ていくための参考になればと思います。